

学術情報組織化の中の図書室の役割と名古屋大学理学部数学教室に於ける二十世紀以前の洋書文献リスト

名古屋大学理学部数学図書室 谷川澄子

I. 学術情報組織化の中の図書室の役割

全国的規模での学術情報システムが計画、整備されつつあり、個々の大学で徐々に動き出している今日、このような中で数学分野の図書室としてどのような役割があるのだろうか。名古屋の一図書室の視点から考えてみた。

学術情報の全国ネットワークシステムに対して、個々の大学に於ける一部局図書室として協力していく事は当然である。又、我々は数学分野の図書室として、より専門的な立場にもある。そして、数学という学内分野は、自然科学系の中でも大量の蔵書量を保持しており、学内研究はそれらの文献資料の上で成り立っているといつて過言ではない。今まで自身の経験を通じて感じている事は、数学においては、他の先進的な分野に勝るとも劣らず、国際的な研究活動を行なっている学内分野であろう。このように高度に専門的で、又、先進的

研究活動をしている研究者に、よりよいサービスを考えていく事が、学術情報ネットワークの中の我々専門図書館の役割の一つであると思われる。それは又、現在、研究者が研究活動の中で、何を必要と感じ、期待しているのかを把握して、利用者サービスを行なう事であるが、一図書館だけで解決してゆく事ばかりではなく、そこには当然教学分野図書館間の協力関係が必要となって来るわけで、現在まで各図書館との間に、『仕事上の問題点、協力体制』について話し合う機会を殆ど得ていない事は残念な事である。是非ともある程度の規模において、実務担当者及び図書館委員等を含めた会議を定期的に開催して、密接な協力関係を確立してゆく必要がある。その中で現在活動しているRIMSのデータベース作成に対しての援助協力やら、PICMSや、東京大学で開発中の単発の会議録データベースに入力されていない、他大学の所蔵情報など、いろいろと検討すべき事項なども上って来るのではないかとと思われる。出来る限り早期に実現して欲しい事である。これまで図書館について考えて来たが、情報収集について、研究者の協力が、今だに不十分なところがある。例えば、特定研究者に送付献呈されたプレプリント類について、一部複製でも図書館に寄贈いただけなかりかという事である。そうなれば、RIMSのデータに入り全国研究者の共有ともなり得る訳で

ある。その他、購入雑誌及び交換雑誌の収集問題なども、数学分野での全体的な見直しに立つた話し合いの機会が確立されたならば、その中から自然と同書室の役割、在り方も出て来いのではないかと考へる。そして、私個人として取員の立場から思う事は、現在、学術情報システムの動きのあき中で専門分野の図書取員としてどのような仕事をしていくかという事である。理科系及び数学系出身者でなければ、まあ取り組んでみなければわからないもののコンピュータに対して少なからず不安がある。そうなればどのような内容の物を仕事としていくかである。図書室の仕事として本がスムーズに支払いを終え配列され、その図書カードが即、入っている、又雑誌がきちんと入荷され展示されているなどは、大切な事であるが、しごく基本的な事である。専門分野の図書室としては、それにプラス、アルファの仕事をしていく事が専門図書室としての意味がある。そのプラス・アルファな仕事を行って得る能力は個人としての司書の資質向上の努力も然る事ながら、私はここで各研究者のアドバイス等を希望する。今まで私に幾筆かの知識があるとすれば、それは図書室に勤務しているいろいろな研究者の話を洩れ聞いたり、研究者同士の研究についての話や、新着図書及び雑誌の話と、仕事をしながらに盗み聞きして、身につけたものや、直接に各先生方から、お

教之りただいた事をいであらう。私個人としては、各研究者がどのような内容の物に興味を保持しているのか、又、各分野での研究動向はどうであるのか、とても知りたく思っている。そして、研究内容はわからずとも、表面的な事を知る事が出来れば、仕事の上で知り得る情報と、各研究者に早く提供して、ささやかではあるが、研究の役に立ちたいと思うのである。但し、改めて各研究者がどのような研究をしているのかと一席を設けていただけてお話を聞くのは、話す側も素人相手に大変な事であらうし、又、聞く側としてもその苦勞をどこまで理解出来るかとても疑問である。その為、自然と研究の動きや、興味が職員の方に伝わってくるような事は出来ないかと思ったりする。今まで、私共の図書室は、手狭で事務室のカウンターの前に新着図書があり、そこに先生方が集まってきた、その略、何かしかの話と盗み聞き出来た訳であるが、現在は部屋も別になり、このような形で情報が入ってくる事は少なくなった。多くの大学でも談話室が図書室と離れて遠くにあるが、出来れば、図書室の延長上に位置していたらと思ったり、先生方が、研究内容について教談している折など見かけると、盗聴機でもあればと勝手な事を思ってしまうのである。ともあれ、専ら図書室の職員としては、研究者に少しでも役に立つサービスを行って得る事が重

要なのであり、その為にも、研究者に不都合しい事は、図書館員に対して、いろいろなアドバイスや、研究上のよもやま話でも、何でも働きかけていた方がいいのである。(やべり零
 風気が図書室になりと言われれば、なんともいたしかたのない事であるが、職員を図書の著人などと思つて捨て置いて欲しくはないのである)。図書室の機能をよりよい物として行く為には、図書館員と研究者との相互の協力なのだと思ふからよく附属図書館などで、集中化して、研究図書館機能をも、合わせ持つと言われり事があるが、小さな学科図書室に居て研究者と接しなから、プラス・アルファの仕事を行つていける位と願つてゐる者にとつて、附属図書館で言う研究図書館機能の内容とは、どのような事を指してゐるのかと思ふけれども、とにかく、将来とも、小さな専内分野の図書室として、存続してゐける為には、専内図書室同士の協力と輪と共に研究者の協力、そして、なかなか困難ではあるけれども、当然に司書の資質向上の努力という事がある。

Ⅱ. 名古屋大学理学部数学教室における二十世紀以前の洋書文献所蔵リストについて。(後ろに添付)

以前の計画案の中に古い時代の洋書文献リストを作成したい旨の事が書かれてあつたので、名古屋大学理学部数学教室にどれだけのものがあるのかを調査してみた。このリスト作成

を終えて感じる事は、非常に手向のかかる事であり、一圖書室だけのリストでは余り意味もないが、全国の教員教室にリスト作成の爲の調査をお頼りする事は、なかなか困難な事ではないかと思つた事である。実際、このリスト作成にあつて、二十世紀以前の単行書を拾ひ出す作業は、カード記載の出版年を拾ひ出すという非能率な方法しか思いつかなかつた事である。まず内趣点として出て来たのは以下の事である。

- (1) 古い物である故に、圖書カードの記載が簡略記入の物が多く不備であつた。
- (2) 同じ本であつても機械的に拾つてゆく「版」ご出版年が異なる。版によつて本の評価が違つてゐる場合があるので、これで良いのか、又は、不都合であるのか。
- (3) 全集物、巻数の続く物は、出版年が十九世紀、二十世紀とまたがってくる。
- (4) リファレント本の中には、オリジナルの出版年、出版社等不明な物がある。
- (5) 訳本は、元の書名、出版年が不明な物がある。
- (6) 雑誌の別刷等を本にしたような物がある。
- (7) 花文字の解説に手向がかつた。等である。

圖書カード調査の途中で、作成の爲の原則を明確にしなければ、あやふやな形で仕上げてしまうと感じたが、結局、明確

なものを採ら、その時、その時に、適宜に処理して出来上
 ったま、たリストであるので、実際には落ちこぼれてい
 るものやら、リストに記載して不都合な物やらありと思う。そ
 れはさておき、石大、理、数学教室は創立時期も新しくて、
 所蔵している量も多くはないが、それでも228葉ほどある。た
 1868年以降のものについては、ドイツの古い論評誌である、
 Jahrbuch über die Fortschritte der Mathematik. (F. d. M.)に記載されてい
 るかを調べ、記載されていればその巻とページをカッコの中
 に入れて表示した。記載されていないものは、こちらの見落
 しか、はたまた雑誌の別刷等の製本したものであるかも知れ
 ないが、これについては未調査である。同書室には
 Royal Society of London の "Catalogue of Scientific Papers, 1800 - 1900" が
 あり、1800年以後の論文については、欠号個所があるものの
 調査は出来るかと思われる。又、F. d. M. も欠号個所があり
 その部分は、大阪大学、理・数、同書室の大浜さんにお世話
 になった。

Abel, N. H. and E. Galois
 Abhandlungen über die algebraische
 Auflösung der Gleichungen.
 Deutsch herausgegeben von H.
 Maser. Berlin, Julius Springer,
 1889.
 (F.d.M. XXI, p.77)

Abel, Niels Henrik
 Oeuvres complètes de Niels Henrik
 Abel. Tome I - II. Nouvelle édition
 publiée aux frais de l'État Norvégien
 par MM. L. Sylow et S. Lie.
 Christiania, Grøndahl et Søn, 1881.
 (F.d.M. XIII, p.20)

Aldis W. Steadman
 An elementary treatise on solid
 geometry. reprint 4th ed. Rev.
 Tokyo, Z.P.Maruya & Co., 1896(M.29)

Apollonius
 Die Bucher des Apollonius von
 Perga de sectione spatii. wieder-
 hergestellt von W. A. Diesterweg.
 1827. [reprinted 1969]

Appell, P. and E. Lacour
 Principes de la théorie des
 fonctions elliptiques et applications.
 Paris, Gauthier-Villars, 1897.
 (F.d.M. XXVIII, p.382)

Appell, Paul & E. Goursat
 Théorie des fonctions algébriques
 et de leurs intégrales.
 Paris, Gauthier-Villars, 1895.
 (F.d.M. XXVI, p.416)

Aschenborn, R. H. M.
 Lehrbuch der Geometrie. 2 Aufl.
 Berlin, Deckers, 1873.
 (F.d.M. V, p.286)

Baltzer, Eduard
 Pythagoras der Weise von Samos.
 Nordhansen, Verlag von F. Förstemann,
 1868. [reprinted 1973]

Bachmann, Paul
 Vorlesungen über die Natur der
 Irrationalzahlen.
 Leipzig, Teubner, 1892.
 (F.d.M. XXIV, p.341)

Baker, H. F.
 Abel's theorem and the allied theory
 including the theory of the theta functions
 Cambridge, Cambridge UP., 1897.
 (F.d.M. XXVIII, p.331)

Bernoulli, Joh.
 Abhandlungen über Variationsrechnung.
 I. Teil. : Abhandlungen von Joh. Bernoulli
 Jac. Bernoulli und Leonhard Euler.
 Hrsg. von P. Stäckel. Leipzig, W.Engelmann
 1894. (Ostwald's Klassiker d. exacten
 Wissensch. No.46)
 (F.d.M. XXV, p.647)

Bezout,
 Cours de mathématiques, a l'usage de
 la marine et de l'artillerie. 2 ed.
 revue et augmentée par F. Peyrard. Paris,
 Chez Louis, Libraire, 1800.

Bianchi, L.
 Vorlesungen über Differentialgeometrie.
 Autorisierte Deutsche Übersetzung von
 Max Lukat. Leipzig, Teubner, 1899.

- Biermann, O.
Theorie der analytischen Functionen.
Leipzig, Teubner, 1887.
- Boole, George
A treatise on differential equations.
5th ed. New York, Chelsea.
[pref. 1865].
- Borel, Emile et Jules Drach
Introduction à l'étude de la théorie
des nombres et de l'algèbre supérieure.
d'après des conférences faites à
l'École Normale Supérieure, par J. T
Paris, Librairie Nony & Cie, 1895.
(F.d.M. XXVII, p.134)
- Borel, Emile
Leçons sur la théorie des fonctions.
Paris, Gauthier-Villars, 1898.
(F. d. M. XXIX, p.336)
- Brahmegupta
Algebra with arithmetic and mensu-
ration from the Sanscrit of Brahmegupta
and Bhascara. translated by H. T.
Colebrooke. London, John Murray, 1817.
[reprinted 1973]
- Briot, C.
Leçons d'algèbre, 1 part. 9 ed.
Paris, Librairie Ch. Delagrave, 1875.
- Briot, C.
Leçons d'algèbre, 2 part. 7 ed.
Paris, Librairie Ch. Delagrave, 1874.
- Briot, C. et Bouquet, M.
Leçons de géométrie analytique.
8 ed. Paris, Librairie Ch. Delagrave,
1875.
- Briot, M. et M. Bouquet
Théorie des fonctions doublement
périodiques et en particulier des fonctions
elliptiques. Paris, Mallet-Bachelier,
1859.
- Briot, M. et M. Bouquet
Théorie des fonctions elliptiques.
2 ed. Paris, Gauthier-Villars, 1873.
(F. d. M. VII, p.262)
- Brockmann, F. J.
Materialien zu Dreieckskonstruktionen.
Leipzig, Teubner, 1889.
- Burkhardt, H.
Functionentheoretische Vorlesungen.
Erster Teil : Einführung in die Theorie der
analytischen functionen einer complexen
Veränderlichen. Leipzig, Veit & Comp., 1897.
(F. d. M. XXVIII, p.325)
- Burkhardt, H.
Funktionentheoretische Vorlesungen.
Zweiter Teil : Elliptische Funktionen.
Leipzig, Veit & Comp., 1897.
(F. d. M. XXX, p.396)
- Burnside, W. S. & Panton, A. W.
The theory of equations:with an
Introduction to the theory of binary
algebraic forms. reprint from second ed.
Tokyo, Rairaido, 1895.
- Byerly, W. E.
An elementary treatise on Fourier's
series and spherical, cylindrical and
ellipsoidal harmonics, with application to
problems in mathematical physics. Boston,
Ginn and Comp., 1893.
(F. d. M. XXV, p.815)
- Cauchy, Augustin Louis
Algebraische Analysis. Deutsch heraus-
gegeben von C. Itzigsohn. Berlin, J.
Springer, 1885.
(F. d. M. XVII, p.200)

- Cauchy, A.
Oeuvres complètes.
1^e Série Tom 1(1882) - 12(1900)
2^e Série Tom 1(1905) - 15(1957)
Paris, Gauthier-Villars.
(F. d. M. XVI, p.25, XVII, p.16,
XXI, p.15, XXIII, p.22 etc...)
- Cayley, Arthur
The collected mathematical papers.
Vol. 1 -13, with index.
Cambridge, The University Press,
1889 - '97.
(F. d. M. XXVI, p.34 etc...)
- Chasles, M.
Aperçu historique sur l'origine et
le développement des méthodes en
géométrie.
(Bruxelles, Mem. Couronn. XI, 1837)
- Chasles, M.
Traité de géométrie supérieure,
2 ed.
Paris, Gauthier-Villars, 1880.
- Chasles, M.
Traité des sections coniques.
1 part.
Paris, Gauthier-Villars, 1865.
- Chauvenet, W.
Manual of spherical and practical
astronomy. Vol. I - II.
Philadelphia, J. B. Lippincott Comp.,
1891.
- Chauvenet, W.
A treatise on plane and spherical
trigonometry.
Philadelphia, J. B. Lippincott Comp.,
1875.
- Clausius, R.
Die machanische Wärmetheorie. I Bd.
2 Aufl. Braunschweig, Friedrich Vieweg
und Sohn, 1876.
- Clausius, R.
Die potentialfunction und das potential.
3 Aufl. Leipzig, Johan Ambrosius Barth,
1877.
- Clebsch, A. und P. Gordan
Theorie der Abelschen Functionen.
Leipzig, Teubner, 1866.
- Clebsch, A.
Theorie der binären algebraischen
Formen. Leipzig, Teubner, 1872.
(F. d. M. IV, p.47)
- Clebsch, A.
Vorlesungen über Geometrie. Bd. I - II
1 Teil. Leipzig, Teubner, 1876, 1891.
(F. d. M. VIII, p.421 etc...)
- Clifford, W. K.
Mathematical Papers.
London, Macmillan and Co., 1882.
- Cremona, L.
Einleitung in eine geometrische Theorie
der ebenen Curven. Greifswald, C. G. Kochs
Verlagsbuch., 1865.
Deutsche Übertrager von M. Curtze.
- Cremona, L.
Elemente des graphischen Calculs.
Autorisirte Deutsche Ausgabe, unter Mitwirkung
des Verfassers übertragen von M. Curtze.
Leipzig, Quandt & Händel, 1875.
(F. d. M. VIII, p.556)
- Cremona, L.
Elemente der projectivischen Geometrie.
Deutsch von Trautvetter. Stuttgart, Cotta,
1882.
(F. d. M. XIV, p.497)
- Cremona, L.
Elements of projective geometry. 2 ed.
translated by C. Leudesdorf. Oxford,
Clarendon Press, 1894.
(F. d. M. XXV, p.989)

- Cremona, L.
Grundzüge einer allgemeinen Theorie der Oberflächen in synthetischer Behandlung. Berlin, S. Calvary & Comp., 1870.
- Darboux, G.
Leçons sur la théorie générale des surfaces. Tome I - IV. Paris, Gauthier-Villars, 1894, 1896. (F. d. M. XXV, p.1159 etc...)
- Davidson, J.
A system of practical mathematics. 8 ed. Edinburgh, Bell & Bradfute, 1860.
- Dedekind, R.
Sur la théorie des nombres entiers algébriques. (Darboux Bull. (2), I.) Auch Separat-Abdruck. Paris, Gauthier-Villars. 1877. (F. d. M. IX, p.126)
- Dienger, J.
Grundriss der Variationsrechnung. Braunschweig, F. Vieweg und Sohn, 1867.
- Dirichlet, G. Lejeune
G. Lejeune Dirichlet's Werke. Bd. I - II. Berlin, G. Reimer, 1889, 1897. [reprinted 1969] (F. d. M. XXI, p.16 und XXVIII, p.14)
- Dirichlet, G. L.
Vorlesungen über Zahlentheorie herausgegeben von R. Dedekind. Braunschweig, F. Viewegund Sohn, 1863.
- Durège, H.
Die ebenen Curven dritter Ordnung, Eine Zusammenstellung ihrer bekannteren Eigenschaften. Leipzig, Teubner, 1871.
- Durège, H.
Elemente der Theorie der Funktionen einer complexen veränderlichen Grösse. 4 Aufl. Leipzig, Teubner, 1893. (F. d. M. XXV, p.732)
- Edwards, J.
An elementary treatise on the differential calculus. London, Macmillan, 1892. 2 ed. (F. d. M. XXIV, p.247)
- Eisenlohr, August
Ein mathematisches Handbuch der alten Aegypter, 1, 2. J. C. Hinrichs' Buchhandlung, 1877. [reprinted 1972].
- Eisenstein, G.
Mathematische Abhandlungen, besonders aus dem Gebiete der Höhern Arithmetik und der Elliptischen Functionen. Berlin, G. Reimer, 1847.
- Engel, F.
Nikolaj Iwanowitsch Lobatschewskij, Zwei geometrische Abhandlungen. 1 Teil. (Urkunden zur Geschichte der nichteuklidischen Geometrie) Leipzig, Teubner, 1898.
- Engel, F. und P. Stäcke.
Die Theorie der Parallellinien von Euklid bis auf Gauss. Leipzig, Teubner, 1895. (F. d. M. XXVI, p.57.)
- Enneper, Alfred
Elliptische Functionen. Theorie und Geschichte. Halle, L. Nebert, 1876. (F. d. M. VIII, p.254)
- Fechner, G. T.
Kollektivmasslehre. Herausgegeben von G. F. Lipps. Leipzig, W. Engelmann, 1897. (F. d. M. XXVII, p.208)

- Fermat,
Oeuvres de Fermat, 1.2,3.
Paris, Gauthier-Villars, 1891-1896.
(F. d. M. XXIII, p.13, XXV, p.19 und
XXVII, p. 9)
- Ferrers, N. M.
Elementary treatise on trilinear
coordinates, the method of reciprocal
polars, and the theory of projections.
4 ed. London, Macmillan, 1890.
(F. d. M. XXII, p.823)
- Fourcy, L. de
Traité de géométrie descriptive.
2 ed. Tom. I - II.
Paris, Libraire de L'École Polytechnique,
1834.
- Fourier, J.-B.-J.
Oeuvres de Fourier. Tome II.
publiées par les soins de M. Gaston
Darboux sous les auspices du ministère
de l'instruction publique.
Paris, Gauthier-Villars, 1890.
(F. d. M. XXII, p.21)
- Frost, P.
Hints for the solution of problems in
the third edition of solid geometry.
London, Macmillan, 1887.
- Galilei, G.
Dialog über die beiden Hauptsächlichsten
Weltsysteme das ptolemäische und das
Kopernikanische. (Übersetzt von E. Strauss)
Leipzig, Teubner, 1891
(F. d. M. XXIII, p.12)
- Gauss, Carl Friedrich
Briefwechsel zwischen C. F. Gauss und
W. Bolyai. Hrsg. von F. Schmidt und P.
Stäckel.
Leipzig, Teubner, 1899 [reprinted 1972]
(F. d. M. XXX, p.10)
- Gauss, C. G.
Carl Friedrich Gauss Werke. Bd. I - XII
1870-1929. Hrsg. Kön.Ges.d.Wiss. Göttingen.
Bd.I-VI:Kon.Ges.d.Wiss.Göttingen.
Bd.VII-X : Leipzig, Teubner, kossission.
Bd.XI-XII : Berlin, Springer.
(F. d. M. XXXIV,p.14, XXXVII, p.12 und
LV,p.611)
- Gauss, C. F.
Allgemeine Flächentheorie.
(Ostwald's Klassiker der exakten Wissen-
schaften) 2 rev.ed.
Leipzig, W. Engelmann, 1827.
- Gordan, Paul
Dr. Paul Gordan's Vorlesungen über
Invariantentheorie, Bd. 1,2.
Hrsg. G. Kerschensteiner. Leipzig,
Teubner, 1885, 1887.
(F. d. M. XIX, p.99)
- Goursat, E.
Leçons sur l'intégration des équations
aux dérivées partielles du second ordre,
Tom. I - II. Paris, Hermann, 1896, 1898.
(F.d.M. XXVII, p.264, XXIX, p.296)
- Goursat, E.
Vorlesungen über die Integration der
partiellen Differentialgleichungen erster
Ordnung. Leipzig, Teubner, 1893.
Autorisirte Deutsche Ausgabe von H. Maser.
(F. d. M. XXV, p.589)
- Grassmann, R.
Die Ausdehnungslehre oder die Wissen-
schaft von den extensiven Grössen in
strenger Formelentwicklung.
Stettin, R. Grassmann, 1891.
(F. d. M. XXIII, p.737)
- Grassmann, H.
Die lineale ausdehnungslehre ein
neuer Zweig der Mathematik.
(Die Wissenschaft der extensiven Grösse
oder die Ausdehnungslehre, 1 Teil)
Leipzig, Otto Wigand, 1844.

Greenhill, A. G.

The applications of elliptic functions. London, Macmillan, 1892. (F. d. M. XXIV, p.410)

Halphen, G.-H.

Traité des fonctions elliptiques et de leurs applications. 1, 2 Partie. Paris, Gauthier-Villars, 1886, 1888. (F. d. M. XVIII, p.377, XX, p.434)

Hamilton, W. R.

Elements of quaternions. 2 ed. Vol. 1 - 2, 1899, 1901. London, Longman, Green and Co. (F. d. M. XXX, p.93)

Hankel, H.

Vorlesungen über die complexen Zahlen und ihre Functionen. I Teil Leipzig, Leopold Voss, 1867.

Harnack, A.

Die Grundlagen der Theorie des Logarithmischen Potentials und der eindeutigen Potential-funktion in der Ebene. Leipzig, Teubner, 1887. (F. d. M. XIX, p.1026)

Heiberg, J. L

Litterargeschichtliche Studien über Euklid. Leipzig, Teubner, 1882.

Hermite, M. Ch.

Cours d'analyse de l'École Polytechnique. I partie. Paris, Gauthier-Villars, 1873. (F. d. M., V, p.148)

Hermite, M. Ch.

Sur quelques applications des fonctions elliptiques. Paris, Gauthier-Villars, 1885.

Hesse, Otto

Vorlesungen über analytische Geometrie des Raumes, insbesondere über Oberflächen zweiter Ordnung. 3 Aufl. Leipzig, Teubner, 1876. (F. d. M. VIII, p.498)

Hoefer, Ferdinand

Histoire des mathématiques. 3 ed. Paris, Librairie Hachette et Cie, 1886.

Hoüel, J.

Cours de calcul infinitésimal. Tome I - III. Paris, Gauthier-Villars, 1878-1880. (F. d. M. XI, p.192, XII, p.205)

Hutton, C.

A course of mathematics, Vol.1-2, 12 ed. ed. by T. S. Davies. London, Longman, [preface 1841, 1843]

Huygens, Christiaan

Oeuvres complètes de Christiaan Huygens. Tom. 1 - 22. La Haye, Martinus Nijhoff, 1888-1944 ? (F. d. M. XXII, p.18, XXVI, p.46 and XXVIII, p.8 etc.)

Imschenetsky, V. G.

Sur l'intégration des équations aux dérivées partielles du premier ordre. traduit du Russe par J. Hoüel. Paris, Gauthier-Villars, 1869. (F. d. M. II, p.177)

Jacobi, G. J.

Fundamenta nova theoriae functionum ellipticarum. Regiomonti, Sumtibus Fratrum Borntraeger, 1829.

Jellett, J. H.

Die Grundlehren der Variationsrechnung. Braunschweig, E. Leibrock, 1860.

Joachimsthal, E.

Anwendung der Differential- und Integralrechnung auf die allgemeine Theorie der Flächen und der Linien doppelter Krümmung. 3 Aufl. Leipzig, Teubner, 1890. (F. d. M. XXII, p.751)

Johnson, W. W.

A treatise on ordinary and partial differential equations. 3 ed. New York, John Wiley, 1889.

Jordan, C.

Cours d'analyse de l'Ecole Polytechnique. Tom. I - III. 2 ed. Paris, Gauthier-Villars, 1893-1896. (F. d. M. XXIV, p.247, XXV, p.452 and XXVII, p.223)

Jordan, C.

Traité des substitutions et des équations algébriques. Paris, Gauthier-Villars, 1870. (F. d. M. III, p.42)

Killing, W.

Die nichteuklidischen Raumformen in analytischer Behandlung. Leipzig, Teubner, 1885. (F. d. M. XVII, p.508)

Klein, F.

Famous problems of elementary geometry. transl. by W. Beman and D. E. Smith. Boston, Ginn and Comp. 1897. (F. d. M. XXVIII, p.438)

Klein, F.

Lectures on mathematics. (The Evanston Colloquium, 1893) New York, Macmillan, 1894. (F. d. M. XXV, p.52)

Klein, F.

Über Riemann's Theorie der algebraischen Functionen und ihrer Integrale. Leipzig, Teubner, 1882. (F. d. M. XIV, p.358)

Klein, F.

Vergleichende Betrachtungen über neuere geometrische Forschungen. Programm zum Eintritt in die philosophische Facultät und den Senat der Universität zu Erlangen. Erlange, Verlag von A. Deichert, 1872. (F. d. M. IV, p.229)

Klein, F.

Vorlesungen über das Ikosaeder und die Auflösung der Gleichungen vom fünften Grade. Leipzig, Teubner, 1884. (F. d. M. XVI, p.61)

Klein, F.

Über die hypergeometrische Function, Vorlesung : Gehalten im Wintersemester, 1893/'94. Göttingen, Ausgearbeitet von E. Ritter, 1894.

Klein, F. und R. Fricke

Vorlesungen über die Theorie der automorphen Functionen. 1 Bd. Leipzig, Teubner, 1897. (F. d. M. XXVIII, p.334)

Klein, F. und R. Fricke

Vorlesungen über die Theorie der elliptischen Modulfunktionen. Bd. I - II. Leipzig, Teubner, 1890, 1892 (F. d. M. XXII, p.455, XXIV, p.412)

Klein, F.

Vorträge über ausgewählte Fragen der Elementargeometrie. : Eine Festschrift zu der Pfingsten 1895 in Göttingen Stattfindenden dritten Versammlung. Ausgearbeitet von F. Tägert. (F. d. M. XXVI, p.546)

- Knoblauch, J.
 Einleitung in die allgemeine
 Theorie der Krümmen Flächen.
 Leipzig, Teubner, 1888.
 (F. d. M. XX, p.752)
- Königsberger, L.
 Allgemeine Untersuchungen aus
 der Theorie der Differentialgleichungen.
 Leipzig, Teubner, 1882.
 (F. d. M. XIV, p.234)
- Königsberger, L.
 Lehrbuch der Theorie der Differen-
 tialgleichungen mit einer unabhängigen
 Variablen. Leipzig, Teubner,
 1889.
 (F. d. M. XXI, p.292)
- Königsberger, L.
 Vorlesungen über die Theorie der
 elliptischen Functionen, nebst einer
 Einleitung in die allgemeine Funktion-
 lehre, I Teil
 Leipzig, Teubner, 1874.
 (F. d. M. VI, p.263)
- Königsberger, L.
 Zur Geschichte der Theorie der
 elliptischen Transcendenten in den
 Jahren 1826-'29.
 Leipzig, Teubner, 1879.
 (F. d. M. XI, p.279)
- Königsberger, L.
 Vorlesungen über die Theorie der
 hyperelliptischen Integrale.
 Leipzig, Teubner, 1878.
- Korn, Arthur
 Lehrbuch der Potentialtheorie,
 Bd. I. Berlin F. Dümlers, 1899.
 (F. d. M. XXX, p.690)
- Kronecker, L.
 Grundzüge einer arithmetischen
 Theorie der algebraischen Grössen.
 (Festschrift zu Herrn E. E. Kummer's
 fünfzigjährigem Doctor-Jubiläum, 10
 Sept., 1881)
 (F. d. M. XIV, p.38)
- Kronecker, L.
 Vorlesungen über die Theorie der
 einfachen und der vielfachen Integrale.
 (Vorlesungen über Mathematik.)
 Leipzig, Teubner, 1894.
 (F. d. M. XXV, p.34)
- Kronecker, L.
 Leopold Kronecker's Werke, Bd. I-III.
 1895-1931. Herausgegeben auf Veranlassung
 der Königlich Preussischen Akademie der
 Wissenschaften von K. Hensel.
 Leipzig, Teubner.
 (F. d. M. XXVI, p.22, XXVIII, p.19 etc.)
- Lachlan, R.
 An elementary treatise on modern pure
 geometry. London, Macmillan, 1893.
 (F. d. M. XXV, p.962)
- Lacroix, S. F.
 Anleitung zur ebenen und sphärischen
 Trigonometrie. Berlin, Dunder und
 Humboldt, 1822.
- Lagrange, Joseph Louis
 Oeuvres de Lagrange. Oeuvres publiées
 par les soins de M.J.A. Serret.
 Tome I - VIII, X, XIII-XIV, 1867-'92.
 Paris, Gauthier -Villars.
 (F. d. M. IX, p.10, XXIV, p.19 etc.)
- Lagrange, J. L.
 Traité de la résolution des équations
 numériques de tous les degrés.
 Nouvelle ed. Paris, Imprimeur Chez
 Courcier, Libraire Augustins, 1808.

- Laplace,
Oeuvres complètes de Laplace.
Tome 8 - 14.
Paris, Gauthier-Villars, 1891-1912.
(F. d. M. XXIII, p.20, XXVI, p.46,
XXIX, p. 7 etc.)
- Laurent, H.
Traité du calcul des probabilités.
Paris, Gauthier-Villars, 1873.
(F. d. M. V, p.118)
- Legendre, A. M.
Essai sur la théorie des nombres
avec deux suppléments. 2 ed.
Paris, Chez Corcier, Imprimeur-libraire,
Augustins, 1808.
- Legendre, A. M.
Zahlentheorie. Nach der 3 Aufl. ins
Deutsche übertragen von H. Maser.
Bd. I - II. Leipzig, Teubner, 1893.
(F. d. M. XXV, p.24)
- Leibniz, G.
Mathematische Schriften, Bd. I-VII.
Hrsg. von C. I. Gerhardt. 1349-1863.
Heildesheim, G. Olms. [reprinted 1962].
- Leipniz, G.
Die Philosophischen Schriften von
Gottfried Wilhelm Leibniz. Bd.1 - 7.
Berlin, Weidmannsche Buchhandlung,
1875-1890.
- Lévy, Lucien
Précis élémentaire de la théorie des
fonctions elliptiques avec tables
numériques et application.
Paris, Gauthier-Villars, 1898.
(F. d. M. XXIX, p.381)
- Lie, Sophus
Geometrie der Berührungsfransforma-
tionen. Bd. I. Dargestellt von S. Lie und
G. Scheffers.
Leipzig, Teubner, 1896.
(F. d. M. XXVII, p.547)
- Lie, Sophus
Theorie der Transformationsgruppen.
Bd. 1 - 3, 1888-1893.
Leipzig, Teubner.
(F. d. M. XXI, p.356, XXIII, p.364 und
XXV, p.623)
- Lie, Sophus
Vorlesungen über continuirliche
Gruppen mit geometrischen und anderen
Anwendungen. Bearbeitet und herausgegeben
von G. Scheffers. Leipzig, Teubner, 1893.
(F. d. M. XXV, p.623)
- Lipschitz, R.
Lehrbuch der Analysis. Bd. 2.
Bonn, Max Cohen & Sohn, 1880.
- Lucas, E.
Théorie des nombres, Tome 1.
Paris, Gauthier-Villars, 1891.
(F. d. M. XXIII, p.174)
- Marie, Maximilien
Histoire des sciences mathématiques et
physiques, 1 - 12.
Paris, Gauthier-Villars, 1883-1888.
[reprinted 1977]
(F. d. M. XV, p.1, XVI, p.1, XVII, p.1 etc)
- Matthiessen, L.
Grundzüge der antiken und modernen
Algebra der litteralen Gleichungen.
2 Aufl. 1896. Leipzig, Teubner.
(F. d. M. XXVI, p.59)
- Maxwell, J. C.
A treatise on electricity and magne-
tism, Vol.I-II, 3 ed.
Tokyo S. Saito, 1895.
- Marriman, M.
A Text-Book on the method of least
squares. 5 ed.
New York, John Wiley, 1884.
(F. d. M. XVI, p.182)

Meyer, G. F.

Vorlesungen über die Theorie der bestimmten Integrale zwischen reellen Grenzen. (mit Vorzüglicher Berücksichtigung der von G. L. Dirichlet im Sommer 1858 gehaltenen Vorträge.) Leipzig, Teubner, 1871. (F. d. M. XXX, p.125)

Minchin, G. M.

A treatise on statics containing the fundamental principles of electrostatics and elasticity. 2 ed. Oxford, Clarendon Press, 1880.

Möbius, A. F.

August Ferdinand Möbius Gesammelte Werke, Bd. 1 - 4, 1885-1887. Herausgegeben auf Veranlassung der königlich sächsischen Gesellschaft der Wissenschaften. Leipzig, S. Hirzel. (F. d. M. XVII, p.16, XVIII, p.18 and XIX, p.18)

De Moivre, Abraham

The doctrine of chances : or a method of calculating the probabilities of events in play. 3 ed. London, Printed for A. Millars, 1756. [reprinted 1967]

De Morgan, A.

Arithmetical books from the invention of printing to the present time. London, Taylor and Walter, 1847.

De Morgan, A.

The cabinet cyclopaedia - natural philosophy : an essay on probabilities. London, Longman, 1838.

De Morgan, A.

The differential and integral calculus. London, Baldwin and Cradock, 1842.

Netto, Eugen

Substitutionentheorie und ihre Anwendungen auf die Algebra. Leipzig, Teubner, 1882. (F. d. M. XIV, p.90)

Netto, Eugen

The theory of substitutions and its applications to algebra. Ann Arbor Michigan, G. Wahr, 1892. (F. d. M. XXIV, p.134)

Newton, I.

Mathematische Principien der Naturlehre Mit Bemerkungen und Erläuterungen herausgegeben von J. Ph. Wolfers. Berlin, Oppenheim, 1872. (F. d. M. IV, p.13)

Niewenglowski, B.

Cours de geometrie analytique. 3 ed. Tome I. Paris, Gauthier-Villars, 1894.

Nixon, R. C. J.

Geometry in space. Oxford, Clarendon Press, 1888. (F. d. M. XX, p.535)

Nixon, R. C. J.

Euclid revised. 3ed. Oxford, Clarendon Press, 1899.

Netto, E.

Vorlesungen über Algebra. Bd. I. Leipzig, Teubner, 1896. (F. d. M. XXVII, p.58)

D'Ocagne, Maurice

Traité de nomographie. Paris, Gauthier-Villars, 1899. (F. d. M. XXX, p.106)

Pasch, Moritz

Vorlesungen über neuere Geometrie. Leipzig, Teubner, 1882. (F. d. M. XIV, p.498)

- Peirce, B. O.
Elements of the theory of the
Newtonian potential function. 3 ed.
Boston, Ginn and Comp., 1886.
- Peschka, G. Ad. V.
Atlas zur darstellenden und
Projectiven Geometrie. Bd.1-4.
Wien, C. Gerold, 1883-1885.
- Peschka, G. Ad. V.
Darstellende und Projective
Geometrie. Wien Carl Gerold's Sohn,
1883-1885.
(F. d. M. XV, p.497, XVI, p.513,
XVII, p.577)
- Peschka, G. Ad. V.
Freie Perspektive, 2 Aufl. Bd. 1-2.
Leipzig, Baumgärtner, 1888-1889.
(F. d. M. XX, p.567, XXI, p.582)
- Petzval, Joseph
Integration der linearen Differen-
tialgleichungen mit constanten und
veränderlichen coefficienten.
Wien W. Braumüller, 1851.
- Picard, E. et G. Simart
Théorie des fonctions algébriques
de deux variables indépendantes.
Tom I. Paris, Gauthier-Villars, 1897.
(F. d. M. XXVIII, p.327)
- Picard, E.
Traité d'analyse. Tom.1 - 3.
Paris, Gauthier-Villars, 1891-1896.
(F. d. M. XXIII, p.279, XXV, p.443 and
XXVII, p.214)
- Pohlke, K.
Darstellende Geometrie. 1,2 Abt.
4 Aufl. Berlin Verlag von R. Gaertner,
1876.
- Pohlke, K.
Zehn Tafeln zur darstellenden Geometrie
1,2. Abt. 4 Aufl. Berlin, R. Gaertner,
1876.
- Poincaré, H.
Les méthodes nouvelles de la mécanique
céleste. Tom. 1 - 3, 1893-1899.
Paris, Gauthier-Villars.
- Possé, C.
Sur quelques applications des fractions
continues algébriques.
St. Petersburg, Academie Imperiale des
Sciences, 1886.
(F. d. M. XVIII, p.161)
- Poinsson, S. D.
Traité de mécanique. Tom. 1 - 2.
Paris, Augustins, 1811.
- Poncelet, J.-V.
Applications d'analyse et de géométrie.
Paris, Mallet-Bachelier, Imprimeur-
Libraire, 1862.
- Poncelet, J.-V.
Traité des propriétés projectives des
figures. Tom. 1 - 2. 2 ed.
Paris, Gauthier-Villars, 1865-1866.
- Ptolémée, C.
Composition mathématique de Claude
Ptolémée. Tom. 1 - 2. traduite pour la
première fois du Grec en Français par M.
Halma and M. Delambre. Paris, Chez Henri
Grand, Libraire, 1813, 1816.
- Pund, Otto
Algebra mit Einschluss der elementaren
Zahlentheorie. Leipzig, G. J. Göschen,
1899. (Sammlung Schubert VI)
(F. d. M. XXX, p.93)

- Quetelet, M. A.
Letters addressed to H. R. H. the
grand of saxe coburg and gotha,
on the theory of probabilities, as
applied to the moral and political
sciences. London, Charles & Edwin
Layton, 1849.
- Rebière, A.
Mathématiques et mathématiciens,
pensées et curiosités. 2 ed.
Paris, Librairie Nony & Cie, 1893.
(F. d. M. XXV, p.116)
- Reye, Theodre
Die Geometrie der Large : Vorträge
Abt. I - II. Hannover, C. Rümpler,
1866, 1868.
- Reye, Th.
Synthetische Geometrie der Kugeln
und linearen Kugelsysteme.
Leipzig, Teubner, 1879.
(F. d. M. XI, p.439)
- Riemann, B.
Elliptische Funktionen.
Leipzig, Teubner, 1899.
- Robin, Gustave
Oeuvres scientifiques.
Paris, Gauthier-Villars, 1899.
- Rudio, F.
Archimedes, Huygens, Lambert,
Legendre, Vier Abhandlungen über die
Kreismessung. Deutsch herausgegeben
und mit einer Uebersicht über die
Geschichte des Problemes von der Quadra-
turr des Cirkels, von den ältesten
Zeiten bis auf unsere Tage, versehen.
Leipzig, Teubner, 1892.
(F. d. M. XXV, p.50)
- Salmon, G.
Analytische Geometrie der Höheren
Ebenen Kurven. 2 Aufl. Deutsch Bearbeitet
von W. Fiedler. Leipzig, Teubner, 1882.
- Salmon, G.
Analytische Geometrie des Raumes. 1-2
Teil, 4 Aufl. Deutsch Bearbeitet von W.
Fiedler. Leipzig, Teubner, 1898.
- Salmon, G.
Lessons introductory to the modern
higher algebra. 3 ed.
Dublin, Hodges, Foster & Co., 1876.
- Salmon, G.
Leçons d'algèbre supérieure. 2 ed.
Traduite par O. Chemin.
Paris, Gauthier-Villars, 1890.
- Salmon, G.
A treatise on the higher plane curves
intended as a sequel to a treatise on
conic sections. 3 ed.
Dublin, Hodges Foster and Figgis, 1879.
- Salmon, G.
A treatise on the analytic geometry of
three dimensions. 4 ed.
Dublin, Hodges, Figgis & Co., 1882.
- Salmon, G.
Vorlesungen über die algebra der
linearen Transformation. 2 Aufl.
Leipzig, Teubner, 1877.
Deutsch Bearbeitet W. Fiedler.
- Salmon, G.
A treatise on conic sections. 3 ed.
London, Longman, 1855.

Scheibner, W.

Zur Reduction elliptischer Integrale
in reeller Form.

Leipzig, B. S. Hirzel, 1879.

(F. d. M. XII, p.350)

Schlesinger, L.

Handbuch der Theorie der linearen
Differentialgleichungen in zwei Bänden.
1895-1898. Leipzig, Teubner.

(F. d. M. XXVI, p.329, XXIX, p.256)

Schloemilch, O.

Uebungsbuch zum Studium der hoeheren
Analysis. 1 Teil, 2 Aufl.

Leipzig, Teubner, 1873.

Schlotke, J.

Lehrbuch der darstellenden Geometrie.
1 - 4 Teil. Dresden, G. Kühtmann, 1894,
1896.

(F. d. M. XXV, p.944, etc.)

Schoenflies, A.

La géométrie du mouvement, exposé
synthétique. Traduit de l'allemand par
Ch. Speckel.

Paris, Gauthier-Villars, 1893.

(F. d. M. XXV, p.1335)

Schröder, E.

Vorlesungen über die Algebra der
Logik. Bd. 1 - 3. Leipzig, Teubner,
1890-1895.

(F. d. M. XXII, p.73, XXVI, p.74 etc)

Schröter, H.

Grundzüge einer rein geometrischen
Theorie der Raumcurve vierter Ordnung
erster Species. Leipzig, Teubner,
1890.

(F. d. M. XXII, p.675)

Schröter, H.

Die Theorie der ebenen Kurven,
dritter Ordnung. Leipzig, Teubner,
1888.

(F. d. M. XX, p.631)

Schröter, H.

Theorie der Oberflächen zweiter
Ordnung und der Raumcurven dritter
Ordnung als Erzeugnisse projectivischer
Gebilde.

Leipzig, Teubner, 1880.

(F. d. M. XII, p.494)

Schwarz, H. A.

Gesammelte mathematische Abhandlungen
Bd. 1 - 2.

Berlin, Julius Springer, 1890.

(F. d. M. XXII, p.31)

Schwarz, H.

Die Theorie der geraden Linie und
der Ebene.

Halle, E. Anton, 1865.

Serret, J. A.

Lehrbuch der Differential- und Integral-
Rechnung. Bd. 1 - II, 2 Aufl.

Leipzig, Teubner, 1844, 1899.

(F. d. M. XXX, p.259)

Serret, J. A.

Handbuch der Höheren Algebra.

Bd. 1 - 2, 2 Aufl.

Leipzig, Teubner, 1878-1879.

Deutsche Uebersetzung von G. Wertheim.

Smith, H. J. S.

The collected mathematical papers.

Vol. 1 - 2, 1894. edited by J. W. L.

Glaisher. Oxford, Clarendon Press.

(F. d. M. XXV, p.29)

Von Staudt, G. K. C.

Geometrie der Lage.

Nürnberg, F. Korn'schen Buch., 1847.

Steiner, J.

Jacob Steiner's Gesammelte Werke.

Bd. 1-2, Herausgegeben von K. Weierstrass

Berlin, G. Reimer, 1881-1882.

(F. d. M. XIII, p.22, XIV, p.18)

- Steiner, J.
Vorlesungen über synthetische Geometrie. 1 - 2 Teil, 3 Aufl. 1887-1898. Leipzig, Teubner. (F. d. M. XIX, p.619, XXIX, 452)
- Stoevesandt
Lehrbuch der Perspective. Berlin, Verlag von Kerbing, 1859.
- Stolz, O.
Grundzüge der Differential- und Integralrechnung. 1 - 3 Teil. Leipzig, Teubner, 1893-1899. (F. d. M. XXV, p.447, XXVII, p.217)
- Stolz, O.
Vorlesungen über allgemeine Arithmetik. 1 - 2 Teil. Leipzig, Teubner, 1885-1886. (F. d. M. XVII, p.116, XVIII, p.130)
- Strauch, G. W.
Theorie und Anwendung des sogenannten Variationscalculus. Bd. 1 - 2, 2 Aufl. Zürich, Meyer & Zeller, 1854.
- Sturm, R.
Die Gebilde ersten und zweiten Grades der Liniengeometrie. 1 - 3 Teil. Leipzig, Teubner, 1892-1896. (F. d. M. XXIV, p.609, XXV, p.1023, XXVII, p.450)
- Sturm, R.
Synthetische Untersuchungen über Flächen dritter Ordnung. Leipzig, Teubner, 1867.
- Tannery, and J. Molk
Éléments de la théorie des fonctions elliptiques. Tome 1 - 4. Paris, Gauthier-Villars, 1893-1898. (F. d. M. XXV, p.758 etc.)
- Taylor, W. W.
Solutions of the exercises in Taylor's Euclid. Cambridge, The University Press, 1897. (F. d. M. XXVIII, p.439)
- Todhunter, J.
An elementary treatise on Laplace's functions, Lamé's functions and Bessel's functions. London, Macmillan, 1875. (F. d. M. VII, p.290)
- Todhunter, I.
A History of the calculus of variations during the nineteenth century. 1861. [reprinted n. d.] New York, Chelsea.
- Townsend, R. R.
Chapters on the modern geometry of the point, line, and circle. Vol. I. Dublin, Hodges, Smith and Co., 1863.
- Tschebyscheff, P. L.
Theorie der Congruenzen : Elemente der Zahlentheorie. Deutsch mit Autorisation des Verfassers herausgegeben von H. Schapira. Berlin, Mayer & Müller, 1889. (F. d. M. XXI, p.167)
- Veronese, G.
Grundzüge der Geometrie von mehreren Dimensionen und mehreren Arten geradliniger Einheiten in elementarer Form entwickelt. Uebersetzt von A. Schepp. Leipzig, Teubner, 1894. (F. d. M. XXV, p.871)
- Volkelt, J.
Erfahrung und Denken. Hamburg, L. Voss, 1886.
- Weber, H.
Elliptische Functionen und algebraische Zahlen. Braunschweig, Vieweg und Sohn, 1891. (F. d. M. XXIII, p.455.)

Weber, H.

Lehrbuch der Algebra, Bd. 1, 2, 3.
Braunschweig, Friedrich Vieweg und Sohn
1898. [reprinted ?]
(F. d. M. XXVI, p.102, XXVII, p.56)

Weber, H.

Traité d'algèbre supérieure. 2 ed.
Traduit de l'allemand sur la deuxième
éd. Paris, Gauthier-Villars, 1898.

Weierstrass, K.

Abhandlungen aus der Functionen-
lehre. Berlin, J. Springer, 1886.
(F. d. M. XVIII, p.327)

Weierstrass, K.

Formeln und Lehrsätze zum Gebrauche
der elliptischen Functionen. 1 Abt.
2 Aufl. bearbeitet und herausgegeben
von H. A. Schwarz.
Berlin, Springer, 1893.

- Weierstrass, K.

Mathematische Werke, Bd. I - VII.
Berlin, Mayer & Müller, 1894-1927.
Herausgegeben unter Mitwirkung einer
von der Königlich Preussischen Akademie
der Wissenschaften eingesetzten Commi-
ssion.
(F. d. M. XXV, p.49 etc.)

Wertheim, G.

Die Arithmetik und die Schrift
über Polygonalzahlen des Diophantus
von Alexandria. Uebersetzt und
mit Anmerkungen begleitet.
Leipzig, Teubner, 1890.
(F. d. M. XXII, p. 11)

Whewell, W.

On the free motion of points and
on universal gravitation. part 1.
3 ed. Cambridge, The Univ. Press,
1836.

Wiener, C.

Lehrbuch der darstellenden Geometrie.
Bd. 1 - 2. Leipzig, Teubner, 1884,
1887.
(F. d. M. XIX, p.566)

Williamson, B. and F. A. Tarleton

An elementary treatise on dynamics.
2 ed. London, Longman, 1889.
(F. d. M. XXI, p.844)

Wirtinger, W.

Untersuchungen über Thetafunctionen.
Leipzig, Teubner, 1895.
(F. d. M. XXVI, p.514)

Woepcke, F.

L'Algèbre d'Omar Alkhayyâmî.
publiée, traduite et accompagnée
d'extraits de manuscrits inédits, par
F. Woepcke. Paris, Benjamin Duprat,
Libraire de l'Institut, 1851.

Wolstenholme, J.

Mathematical problems, 2 ed.
London, Macmillan, 1878.

Wright, R. P.

The elements of plane geometry. 7 ed.
London, Longman, 1887.